

❀ 4月～7月の予定 ❀

月	日	曜	実施グループ名	月	日	曜	実施グループ名
4	13	水	東与賀出前支援	6	10	金	なかよしミニ②
	18	月	フリーデー		14	火	ミックス (じゃがいも掘り)
	19	火	フリーデー		16	木	ミックス (じゃがいも掘り)
	22	金	シニアサロンぽぼら		21	火	フリーデー
	25	月	ミックス		23	木	フリーデー
	26	火	ミックス		29	水	シニアサロンぽぼら
	28	木	高木瀬あいあいサークル		30	木	環境講座
5	11	水	東与賀出前支援	7	4	月	なかよし一む
	17	火	フリーデー		5	火	なかよし一む・プレ
	19	木	フリーデー		6	水	東与賀出前支援
	24	火	ミックス		7	木	シニアサロンぽぼら
	26	木	ミックス		8	金	なかよしミニ①
	27	金	シニアサロンぽぼら		11	月	若楠にこにこサークル (出前)
	30	月	育児講座 No.1		12	火	なかよしミニ②
6	1	水	東与賀出前支援	14	木	ミックス	
	2	木	なかよし一む	21	木	フリーデー	
	7	火	なかよし一む・プレ	22	金	フリーデー	
	8	水	なかよしミニ①	29	金	シニアサロンぽぼら	
	9	木	高木瀬あいあいサークル				

永原学園三光保育園地域子育て支援センターでは
以下のような事業をしています

- 毎月1回程度親子で登園し、毎回違う計画を一緒に楽しみます。(登録制)
5月9日から募集受付をします。
☆なかよし一む・・・2歳児コース
☆なかよしミニ・・・1歳児コース
- 就学前までのお子様と保護者の方が一緒に参加して楽しく集う場です
☆なかよしミックス・・・月1～2回実施 (予約制)
- 支援センター内を開放します。
☆フリーデー・・・月1～2回実施
- 地域の方々に「さんこうぽぼら」におこしいただき、集いの場として
楽しいひと時を過ごします。
☆シニアサロンぽぼら・・・月1回実施
- その他
☆親子クッキング (8月) ☆育児講座 (年3回)
☆環境講座 (年1回)



♡ 新しい出会い ♡

新学期がスタートし、園にも子どもたちの歓声が戻ってきました。ぽぼらの活動も間もなく本格的に始まりますが、私達は新しい子どもたちに会えるのを心待ちにしています。

さて、毎年、1歳半位のお子様から3歳くらいまでのお様がうちの方に連れられて通い始めるころは、強烈な自己主張で駄々をこねたり、こだわりがあったり、お母さんも困り顔の様子が多々見られます。丁度、この時期は自我が芽生えるころ！言葉が増え、自分の要求を実現するまでこだわり続けるときは、約束したことやルールを当てはめようとしても役に立ちません。

ぽぼらでは、子どもたちの心の発達に合わせて、子どもの姿を受け止める魔法の言葉かけや、対処法も一緒に考えていきたいと思えます。そして、受け止められた子どもたちの1年間の成長過程をみんなで応援していきましょう。今年度も1年間よろしくお願ひ致します。

三光保育園長

「なかよしミックス」に遊びにきませんか！

就園前までのお子様と保護者の方が一緒に参加して親子で楽しく遊ぶ集いの場です。

★第1回目の4月は、

「紙芝居や絵本を楽しむ」です。

日時：4月25日(月)10:00～12:00

4月26日(火)10:00～12:00

場所：さんこう・ぽぼら

※駐車場は三光保育園からお入り下さい。
※ご希望の方は、事前のお申し込みが必要です。

※電話の受付は、平日の9:30～17:00
までをお願いします。



「フリーデー」にもどうぞ！

日時：4月18日(月)

4月19日(火)

10:00～12:00

お好きな時間にお出かけ下さい。

場所：さんこう・ぽぼら

「シニアサロンぽぼら」に遊びに来ませんか

地域子育て支援センター「さんこうぽぼら」では、月に1回地域の方におこし頂き楽しいひと時を過ごしています。お茶とお菓子を頂きながらおしゃべりをしたり、園児との交流を楽しんで頂きます。

奮ってご参加下さい。

4月22日(金)10時から12時

場所：さんこう・ぽぼら

お電話でお申し込み下さい。31-6877

♪ 育児相談・食育相談をしています ♪

三光保育園及び三光幼稚園では、

育児・食育相談を受け付けています。

お気軽にお申し込み下さい。

※毎月第3火曜日の14時～16時までは、西九大短大部教員による、食育相談を行っています。事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。

寄稿：西九州大学・西九州大学短期大学の窓から

子育て便り

「学校を基盤に、地域全体で子どもを支えることの意義－非行問題を例に－」

西九州大学子ども学部心理カウンセリング学科 講師 宮古紀宏

現在、国をあげて、学校と地域が連携して、子どもの教育に関わることが求められています。その理由の一つは、子どもの問題行動の背景が複雑・多様化しているとされているからです。子どもの問題が複雑・多様化しているとは一体どういうことなのでしょうか。それが、なぜ、学校と地域の連携に関係するのでしょうか。以下に、非行という問題を例に挙げて、簡潔にご説明したいと思います。

人が非行という行動に至るには、大きく8つの原因（専門用語で「セントラルエイト」と呼ばれています）があることが、明らかになってきました。それらは、「反社会的な友達の有無」や「反社会的な考え方」、「余暇の過ごし方」、「薬物の使用」、「家庭内の問題」、「教育や職業の問題」などです。非行傾向のある友達付き合いから、非行になる子どももいれば、家庭内や学校の居心地の悪さから非行へと走る子どももいます。どの原因が大きいかは、それぞれの子どものより異なります。それぞれの原因が足し合わされ、かけ合わされることで「非行」という結果に至ります。

ここで、大切な視点は、非行の原因は広い範囲にわたるため、家庭だけ、または、学校だけがバラバラに努力しても、十分な解決につながらないということです。目の前の子どもの「生きづらさ」の解消に向けて、その子どもにとってのベストは何かを考え続け、皆で目標を共有し、足並みをそろえて支援していくことが求められます。

例えば、「教育や職業の問題」については、教師は子どもたちが安心と安全を感じながら学習できるような環境づくりを行い、子どもが学校からフェードアウトしないような支援と就労に役立つスキルをしっかりと身につけさせる指導が求められます。また、「家庭内の問題」には、福祉の力をはじめ、地域の力を活用した保護者支援が欠かせません。さらに、「薬物の使用」については、早期に警察や医療機関と連携し、薬物使用を未然に防止するための教育を行うことが大切です。

さて、非行とその背景にある問題を例に、学校と地域連携の意義について、ご説明しました。しかし、非行問題はあくまで一例です。「いじめ」や「不登校」の問題の背景も多種・多様です。そのため、子どもの健やかな育ちを支援していくためには、地域の多くの方たちが、知恵とワザを持ち寄って、子どもの教育に関わっていくことが重要です。そして、子どもが学校教育から離脱しないように、子どもの学校教育をきちんと保障するために、今、学校は、地域の協働の「場」となることが求められています。

食育便り

「親子でにっこり食事作り」

西九州大学健康栄養学部健康栄養学科 副島 順子

4月は入園、入学など新しい旅立ちの時です。この機会に子どもと一緒に楽しく食事作りを始めてみませんか？

料理を始める前の準備

★ 大人の用意

- ① 献立に合わせ、食材、調味料などを準備する。
- ② 調理に使う道具をそろえる。
鍋、フライパン、ボウル、まな板、包丁、ざる、玉じゃくし、はかりなど。
- ③ 子どもにとって調理台が高い場合は、しっかりとした踏み台やそれに代わるものを用意する

★ 子どもの用意

- ① 身支度を整える。
手は爪を短く切り、石鹸でよく洗う。
エプロンをつけ三角巾(バンダナなど)で髪の毛をおおっておく。

どういことができるだろう

★ 3歳からのお手伝い

- ① 洗う
じゃがいもやにんじんなど形のしっかりしたものをたわしなどでこする。(水遊び感覚で)
- ② 皮をむく
茹でて冷ましたじゃがいもの皮むきや枝豆などをさやから取り出したり、茹で卵の殻のむきやすいものをむかせる。
- ③ ちぎる
サラダやあえ物など。
- ④ 混ぜる
レタスやのりなど。



★ 5歳頃になったら

- ① むく、切る
ピーラで皮をむく。包丁の使い方を教える(子ども用の包丁)。
- ② オーブントースターを使う
パンや餅などを焼く。
- ③ こねる、割る
ハンバーグの生地、白玉団子等をこねる。卵を割る。



- ④ 米をとぐ
あくまでもお手伝いから始め、けがのないように見守りながら、自立心を育てましょう。大人の声かけの禁句は「ダメダメ」「早く」「急いで」です。一方、「よくできたね」「上手ね」など自信を持たせるような誉め言葉をかけましょう。そして少しずつお手伝いをさせましょう。